

請 願 書

I 件名

1. 国際工芸美術館（仮称）の建設を抜本的に見直すこと、及び町田市立博物館の収蔵品の鑑定を行うことの請願をいたします。

I 理 由

- ① 近隣住民の多くの方は昨年9月、予定地に国際工芸美術館（仮称）が建設するということを知った次第です。

それに対して、ほぼ全員の近隣住民が反対しました。反対の理由は、自然環境破壊・建設コストが異常に高い・近隣住民に対して形式的な説明をするのみで、納得のいく説明がなされていない。また、その折に我々が出した要望も一切考慮されていない等々です。（詳細は、アンケートの通りです）

しかし、考察を重ねるにつれ、建設反対の根底にあるものが明確になってきました。それは、芹ヶ谷公園が近隣住民（のみならず町田市民）にとって「まほろば」として機能しているからです。そこが、樹木の大量伐採、無味乾燥的な建物の建設等によって破壊されるということに本能的に嫌悪感を覚えるからです。芹ヶ谷公園は適切な植栽管理が行われていけば、現状がベストです。

② 最近、図書館や国際版画美術館において町田市立博物館のコレクションの一部が紹介されております。直近では国際版画美術館において「岩田色ガラスの世界」ベストセレクションと称する展示がなされていまして、確かに美しいガラス工芸品ではあります。しかし、継続的に集客できる作品であるかと言われれば、無理だと思いました。

そこで、疑問を感じました。「町田市立博物館の収蔵物の価値は、美術的観点、歴史的観点、町田市との由来等、あらゆる観点からして、33億4,000万円もする建物が必要であるのだろうか」と。よって中立公正な第三者機関による、鑑定をすべきであると思う次第です。

鑑定の結果によっては、市役所のエントランス、図書館、公民館、国際版画美術館等において定期的に展示すればよいと考えます。

I 請願項目

よって、以上①②の理由により、I 件名に記載の通り、

- 1 国際工芸美術館（仮称）の建設を抜本的に見直すこと
 - 2 町田市立博物館の収蔵品の鑑定を行うこと
- を請願する